

高等部・職員・保護者 校内進路研修会

10月1日(水)に校内進路研修会を開催しました。今年度も昨年度に引き続き二部構成とし、第一部は本校高等部生徒を対象に、第二部は本校保護者、本校職員(小中学部職員はオンライン参加)、学校運営協議会委員を対象として行いました。

事業所及び本校卒業生からの講話として、株式会社なでし子様からは、就労継続支援A型・B型事業所「リトル by リトル」について、特定非営利活動法人 team.Step by step 様からは、就労移行支援・生活介護事業所「NEXT」、短期入所事業所「おりーぶはうす」について、社会福祉法人嶽陽会 特別養護老人ホーム松山荘様から一般就労について、それぞれの事業所で提供するサービスや、実際にどのようなことを行っているのかについて説明していただきました。

また、「リトル by リトル」で働いている令和5年度卒業生の北山さん、「特別養護老人ホーム松山荘」で働いている平成27年度卒業生の三上さんにも講師として来校していただき、実際にいろいろな話を伺うことができました。北山さんからは、「農作業が楽しい」といったお話や、三上さんからは、「働き始めてからずっと今も続けている仕事内容にやりがいを感じている」「これからもずっと松山荘で働きたい」といったお話がありました。各事業所の方からは、学校段階で身に付けてほしいこととして、「挨拶をきちんとすること」「自分の仕事を最後までできること」などが挙げられました。

事業所の方や働く卒業生の先輩から直接お話を聞くことができ、とても貴重で学びの多い研修会となりました。お忙しい時期ではありましたが、ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

【研修会講師 紹介】

- 社会福祉法人嶽陽会 特別養護老人ホーム松山荘
生活支援員 三上美紀 氏
平成27年度卒業生 三上麻由子さん
- 株式会社なでし子
就労継続支援A型・B型事業所リトル by リトル
管理者 今寿志 氏
令和5年度卒業生 北山丈太郎さん
- 特定非営利活動法人 team.Step by step
就労移行支援事業所・生活介護事業所NEXT
短期入所事業所おりーぶはうす
統括主任 加藤めぐみ 氏



高等部Bグループ 施設見学

9月5日(金)に高等部Bグループが、社会福祉法人七峰会 拓心館グループ 多機能型事業所エイブル(就労継続支援B型・生活介護)を訪問し、事業所の説明と見学のほか、利用者と同じ作業である布の糸くず取りやタオル畳みを体験させていただきました。

後期現場実習を翌月に控え、1学年にとっては成人の事業所の雰囲気を感じ、2・3学年にとっては、新たな事業所を知るよい機会となりました。



中学部3学年 高等部体験入学

9月12日(金)に中学部3学年が、高等部体験入学に参加し、それぞれに作業学習を体験しました。

高等部で行われている行事についての説明では、中学部とは違う内容に、みんな真剣に話を聞いていました。作業学習の体験では、枝豆のさや外しやこぎん刺し、喫茶サービスの発声練習や商品棚の陳列など、貴重な体験をすることができました。

商品の陳列では、高等部の先輩が並べ方を説明してくれたり、静かに黙々と作業している姿を見たりして、高等部の雰囲気を感じ、「緊張とドキドキがいっぱいだった。」と感想を話してくれました。

リサイクル班の体験では、高等部の先生の話をよく聞いて、準備や片付けをすることができました。3学年の生徒にとって、大変有意義な体験となりました。



中学部1学年 「りんご農家さんにインタビューしよう」

9月4日(木)に中学部1学年が、Farmなる実様のりんご農園に行き、りんご農家の鳴海純氏(本校の学校運営協議会委員)に、りんご栽培についてインタビューをしました。生徒たちは、「りんごは何種類作っていますか」「摘果した実はどうしていますか」等、考えた質問を自分の言葉で伝えることができました。鳴海さんから一つ一つの質問に丁寧に回答していただき、生徒たちは実際にりんごが栽培されている様子を見たり、言葉のやり取りを通してさらに体感したりしながら、りんごの種類や栽培の大変さ、摘果した実や剪定した枝は土に返して畑の栄養にすること等、今まで知らなかったことを学ぶ貴重な機会となりました。学校に戻ってから教えていただいたことを整理したり、自分の気持ちと結び付けて表現したりし、りんご栽培について学びを深めました。



高等部3学年 柏木農業高等学校との農業交流

9月10日(水)に高等部3学年が、柏木農業高等学校を訪問し、りんご研究部の生徒とりんご(つがる)の収穫を通して交流しました。りんご研究部員は青森りんご150周年のお揃いTシャツを着て出迎えてくれました。本校生徒はりんご研究部員にりんごの収穫方法を教えてもらいながら、つがるを1つ残らず収穫しました。そして、採れたてりんごを輪切り(スターカット)にしてもらい試食タイム。何度もおかわりしている生徒もいました。最後には、りんご詰め放題タイムまであり、笑顔笑顔で終わった交流会でした。



高等部農業班 農業体験実習②

9月22日(月)に高等部農業班が、「農福連携に係る農業体験実習」の2回目として、Farmなる実様のりんご農園で、葉取り作業を行いました。前回の摘果(実すぐり)作業時のりんごと比べ、大きさや色の変化を感じながら、次回の収穫までに日光をたくさん浴びて、もっと大きく、赤くなってほしいという気持ちで葉取り作業に取り組みました。慣れている生徒は脚立で高い枝の葉取りにも挑戦しました。摘果よりも葉取りの方が簡単だったと感じた生徒が多かったようです。

次回は10月27日(月)に収穫を行う予定です。どうか台風などの被害を受けませんように。(祈)



高等部 作業体験学習（販売学習）

高等部作業班合同で、9月2日（火）・3日（水）に弘前市役所で作業製品の販売学習を実施しました。昨年度同様、路線バスで往復し、9:50～10:50の1時間限定で販売しました。

1日目は田中副市長はじめ80名、2日目は71名、合計151名のお客様にお買い上げいただきました。昨年度の138名から13名増え、2年連続で最大人数を更新する結果となり、毎年継続することで、本校及び作業製品の認知度が高まっていることを実感することができました。

販売学習には、各班の代表が出かけたため、学校で待っている生徒もどれだけ売れるのか気になっていたようで、1日目の代表者が帰校するなり、「いっぱいお客さん来た?」「全部売れた?」と質問する姿が印象的でした。

実際に出かけた生徒たちは、最初は緊張していた様子でしたが、製品が一つ、また一つと売れていくと自然と笑顔も増え、「いらしゃいませ」「ありがとうございました」の声も元気に明るく言えるようになっていました。お客様からのアンケートでも、生徒の接客態度に高評価をいただくことができました。

地域の方々にご協力いただき、生徒の自信や就労への意欲などを高める機会となったほか、地域の方々に本校を知っていただくよい機会となりました。



高等部総合サービス班 地域での清掃活動

9月18日（木）と25日（木）に高等部総合サービス班が、高等部校舎から徒歩3分ほどの場所にある有料老人ホームなごみの里様のご厚意により、今年度も2日にわたって清掃活動を行いました。これまでの学習で身に付けた知識や技術を生かしながら、窓清掃を中心に、その他草取りなどの環境整備にも取り組みました。

活動終了後には、職員の方々から「またお願いします」といった言葉をいただき、生徒たちも前向きな気持ちを見せていました。

今後も、このような地域とのつながりを大切にしながら、生徒が働く喜びや達成感を味わえるような活動を継続していきたいと考えています。



高等部総合サービス班 作業体験学習（職業技能）

7月18日（金）、9月19日（金）、26日（金）の3回、高等部総合サービス班の職業技能を選択している生徒8名が、いとか浜の町店様を訪問し、前出しや品出しの体験を行ったほか、スーパーマーケットでのSDGsについて質問を行いました（3グループに分かれ、一人1回訪問）。

スーパーマーケットでのSDGsは、賞味期限・消費期限が近くなったら割引をするだけでなく、一人暮らし等に対応するためカット野菜を用意して必要な量だけ買えるようにしたり、廃油を業者に提供して石けんにしてもらったりしているということを学びました。そして、賞味期限を意識して前出しや品出しを行うことがSDGsにつながっていることを体験しました。



最低賃金改定

青森県最低賃金が令和7年11月21日から時間額1,029円になる予定です。初の1,000円台になり、引き上げ額は76円で県内では過去最大です。もちろん、一般就労や就労継続支援A型の賃金にも適用になります。給料が多くもらえることになるので労働者にとっては喜ばしいことである反面、近年、複数の就労継続支援A型事業所が経営難により、閉所や定員削減を行っていることから、同様のことが起こらないか注視していく必要があります。

【青森県最低賃金の推移 ～令和元年以降～】

発効年月日	時間額	引き上げ額
令和元年10月4日	790円	
令和2年10月3日	793円	3円
令和3年10月6日	822円	29円
令和4年10月5日	853円	31円
令和5年10月7日	898円	45円
令和6年10月5日	953円	55円
令和7年11月21日（予定）	1,029円	76円



施設情報 今年度開所した就労継続支援B型事業所です

特定非営利活動法人MUGEN 就労継続支援B型事業所MIRAI

所在地	〒037-0066 五所川原市中平井町144-2 (リハビリ堂やすらぎデイサービスの建物内にあります)
作業内容	【就労継続支援B型】 ・セブンイレブンでの施設外就労（清掃、レジ、前出し・品出し、商品発注等） ・施設内では、セブンイレブンで使用するものの製作（エコバッグやPOP作り、季節に応じた装飾作り等） ・リハビリ堂やすらぎデイサービスでの介護補助（清掃、高齢者との会話等）
定員	20名（R7.9現在、10名利用）
送迎	板柳までは可能
昼食	同法人のTOWAで調理したものを運んで、盛り付けて提供。1食300円。
その他	同法人3つ目の事業所（他は夢現、TOWA）で、R7.4.1に開所



★本通信は学校HPでもご覧になれます。